



林業技士会 ニュース

No. 144
2018

編集・発行人



日本林業技士会

〒102-0085

東京都千代田区六番町7番地 日林協会館4階

TEL 03-6737-1271 FAX 03-6737-1296

Eメール murayama@gishikai.jp

URL http://www.gishikai.jp/

視点

地域森林管理の主役は市町村



東京大学大学院教授 白石 則彦

森林・林業に関わるいまホットな話題といえば、森林環境税の創設と、新たな森林管理システムの構築でしょう。

最新の森林・林業白書によれば、我が国の私有林の人工林約670万haのうち既に三分の一が森林経営計画を通して集約化されているとみられています。新たな森林管理システムでは、残る三分の二のうちの半分程は林業経営に適した森林として、意欲と実力ある事業者により林業的利用を継続し、残る約三分の一の林業経営に適さない森林は市町村の管理により自然に近い森林、人手の掛からない森林に誘導していくことになっています。

このことは、市町村が森林管理の中心的存在になることを示したのもでもあります。平成23年に森林・林業再生プランが策定され、市町村森林整備計画は市町村の森林のマスタープランと位置づけられました。しかしこの時点でのマスタープランの意味するところは主に機能別ゾーニングに留まっております。そしてそれば必ずしも実効性あるものとは言えませんでした。各地で人工林資源は成熟しつつあり、6割以上の面積が8～12齢級にあり、伐期に近づきつつある今は、各林分の取扱方針を決めていく極めて重要な分岐点にあると言えるでしょう。

森林・林業白書には、私有林の人工林を概ね三等分してそれぞれの管理の方針を定めていますが、この内訳は地域によって異なります。現在は林業経営が成り立ちにくい立地条件であっても、林道や作業道が開設されれば採算は改善すると思われます。市町村森林整備計画のなかでも、林道・林業専

目次

視 点	地域森林管理の主役は市町村	東京大学大学院教授 白石 則彦 1
総 会 報 告	第37回通常総会が開催される	日本林業技士会 3
支部活動報告	宮城県支部の巻	宮城県支部 佐藤 昇 24
林業技士べんぎょう室	森林・林業クラスター化について	日本林業技士会 会長 小林 洋司 26
書 籍 紹 介	林業機械化協会、全国林業普及協会	30
あ と が き	32